

群馬大学創基150周年キャッチコピーの応募作品一覧

通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説	通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説
1	駆けろ未来へ150の歴史と共に	150年の歴史を背負ってこれからの未来を創っていきけるような学校になってほしいという思いを込めました。	2	目指せ日本一の大学へ	日本一楽しい大学になってほしいという願いを込めました。
3	次の150年にも愛される大学に	150周年は終わりではなく、次の150年への始まりです。そんなターニングポイントとなる150周年を群馬大学出身の群大教員として祝いたい。	4	今までの歴史、これからの歴史	ここまでの150年の歴史を忘れずに、これから新しい群大の歴史を築いていこうという思いを込めました。
5	群れる羊よ、駆ける馬となれ。	群馬を元に、漢字は羊、馬、群、駆とだけに絞った。群れることと駆けることを対比して、群れることで成長してきた学生たちを自分たち意志で駆けろ(早く走る方でも、空を飛ぶ方でも、どちらで解釈しても構わない)るように育てること。	6	世界を導く大群と成れ	群馬大学から世界をリードするような素晴らしい人材が沢山生まれる事を願ったものです。
7	つなぐ未来へ群馬大	150年の歴史と伝統を未来へつなぎ、さらに飛躍することを表しています。また、上毛かるたの「つる舞う形の群馬県」と語呂と出だしを揃えることで県民の皆様にも親しみやすいキャッチコピーを目指しました。	8	育てたいのは人間力だ。	群馬大学は学問はもとより、人間力、すなわち生きる力を育める環境があることをアピールしたい。
9	地域の、世界の、知性たれ	教員養成のための「小学校教員伝習所」をルーツに持つ本学は、地域の知の拠点として古くからその役割を担ってきました。地方創生が叫ばれる中、こうした地域の知を支える役割はますます重要になってきます。そして同時に、Society 5.0の社会において、地球的視野を持ったグローバルな人材を育成していきます。	10	群れない知性	テクノロジーが進み、AI時代が到来するSociety 5.0の社会において、新たな課題を発見し、「0」から「1」を生み出す人材がますます重要になってきます。群馬大学では、挑戦を恐れず、群衆から抜き出ようとする知性や研究、地域のイノベーションを大切に育んでいきます。

群馬大学創基150周年キャッチコピーの応募作品一覧

通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説	通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説
11	明治から令和へ 群馬に根ざし150年	明治時代に起源となる小学校教員伝習所が設立された群馬大学が、大正、昭和、令和と時代を経て各学部が設立され、現在に至るまで群馬県に根ざし、地域とともに発展しながら教育・研究を行ってきた大学であることを表現しました。	12	刻を紡げ、夢幻の願を現世に（ときをつむげ、むげんのがんをうつしよに）	百五十年という長い時の中、時代の動乱を超えて無数（無限）の夢や思いを形にしてきたこの場所を、更なる未来を紡ぎ描くための場所となることを願って製作しました。
13	過去から未来へ、群馬から世界へ。	150年の伝統をベースに世界で通用する人材を育成する。	14	伝統と革新、群馬大学。	150年の伝統に裏打ちされた実績と、新しいことにチャレンジする精神を持った群馬大学。
15	ぐんぐんのびる 群馬大	群馬大学は地域の人材育成や地域社会を支える基盤として、より発展していきたいということを表現しました。	16	知性の山麓 群馬大	大学概要の学長からのメッセージ「群馬大学も赤城山のように、広い知の基盤を形成し、その基盤のうえにリージョナルからグローバルまで、さまざまな知の峰を作り、世の中に発信していきたいと思っています」を参考にしました。
17	150年分の知の高嶺	キャンパスから見える上毛三山と同様に、群大の知の歴史が150年積み重ねられてきたことを表現しました	18	地域のために、地域を超える	群馬大学は地域に根差した大学であり、地域社会を元気にする使命がありますが、本学での学びや活動が、学内や地域の枠を超えて広がって行ってほしいという願いを込めました。
19	世界に羽ばたく夢を胸に。	群馬大学では、様々な分野に対する知識や技能を習得する環境が整っています。こうした環境を最大限活かし、大学生活で見つけた"自分が活躍できる世界"へと大きく羽ばたいていける学生が、さらに増えてくれることを期待して作成しました	20	I GO 群大 We GO 未来	群大に入学、入職、来学し、そこで築いた仲間と共に未来を目指す、という意志が込められています。「I GO」と150がかかっています。

群馬大学創基150周年キャッチコピーの応募作品一覧

通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説	通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説
21	教育の 礎ここに、群馬大学	150年という教育の長い歴史を築き上げてきた群馬大学。広く誰でもわかるように、また、群馬大学への敬意を込めてこのキャッチコピーを考えました。	22	Our will for next 150 years	150周年を記念し、次の150年も生き残れる持続可能な群馬大学への願いを込めました。
23	スキルを紡ぎ創る。新時代	群馬県の世界遺産と言え【富岡製糸場と絹産業】です。絹が出来るまでの工程は、細い生糸を紡ぐことで強くて丈夫な生糸にします。その糸を束ねて機で織り、最高の素材にします。些細な出来ることでも、つむぎ合わせると重要になる。それを地域や社会で織り上げることで、新しい何かを作りだす。ステキな物や文化を創って欲しいとの思いで作りました。	24	群郷にイノベーション	群郷とは造語です。群馬の群と故郷の郷を組み合わせました。イノベーションとは、新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす変革を意味します。すなわち、群馬大学は地域社会をイノベーションできる力を目指す。地域を飛躍させ、日本や世界にも波及するような、社会的意義のある変革になることを期待して作りました。
25	GU発想で未来を築く群馬大学	大学の基本理念にある「自主自律」を自由な発想で学問に取り組める環境と捉え、そこから未来を築いていくにつながるという意味。自由=GU(ジュー)=Gunman Universityの頭文字	26	GU発想で地域と共に群馬大学	大学の基本理念にある「自主自律」を自由な発想で学問に取り組める環境と捉え、それが地域社会に貢献していくことにつながっていくという意味。自由=GU(ジュー)=Gunma Universityの頭文字
27	世界へ翔ける、ここからまた150年	ここからさらに150年、300年愛されて世界で活躍するグローバルな学生を生み出していく教育機関、という意を込めました。	28	知者を生み、時代を紡ぐ。	「知者を生み」は、多様な知識を習得し、グローバルに活躍できる人材を輩出する大学を、群馬大学は常に目指しているということを表しています。 「時代を紡ぐ」は、8世紀中頃から18世紀にかけて、群馬の絹産業は日本のみならず世界の第一線を牽引していたように、群馬大学も同様に教育研究で世界を牽引していくことを表しています。また、絹産業の功績にあやかり、「繭を紡ぐ」の「紡ぐ」を言葉に入れ、「時代を紡ぐ」その時代を牽引する大学を目指すという意味も含まれております。
29	世界に轟く歴史を刻む	群馬大学が創基150周年を迎えた後も歴史に刻まれるような成果を出し、群馬大学の名が世界に轟くぐらい躍進してほしいという願いを込めて作りました。	30	伝統を基盤に、先端を力に	この度で150周年を迎えた群馬大学は歴史悠久の大学。群馬大学は地域に支えて成り立てたものである一方、地域と連携して遂げた成果をまた地域に還元するのである。群馬の伝統は群馬大学のからの発展の基盤であり、これからも守り続けるものである。一方群馬大学は教育や研究活動を国内外と連結して、最先端の技術を求めることを理念をしてあげている。先端技術の開発や導入、新時代の領導を目指す期待を込めている。

群馬大学創基150周年キャッチコピーの応募作品一覧

通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説	通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説
31	未来へ！鶴のように羽ばたく群馬大学	群馬大学生や卒業生が様々な分野に活躍する姿を現しました。鶴は、群馬のイメージです。	32	生まれし知の群れ、新たな道へと	群馬大学から、「ウマ」と「群れ」を含めました。150年に渡って紡いだ知識が、新たな学生の道しるべとなることを願って、このようなキャッチコピーにしました。
33	先人たちの情熱を未来へと繋ぐ	150年という長い年月の中で、数多くの教職員や学生が教育、研究、診療、学生活動等に情熱をもって打ち込んできた上に、今の群馬大学があります。150周年という節目の年にそのことを再認識し、先人たちに負けないくらい情熱をもって打ち込み、大学をさらに発展させ、後輩たちに引き継いでいきたいという思いを込めました。	34	150年後も輝く大学	150周年ということで、たくさんの歴史を過ごしてきた記念ではありますが、150年後という言葉を使用することで未来へつながる大学というイメージで考案いたしました。
35	己々に、150年の信念	大学はそれぞれの己が信念を持つことで支えられている。群大は一つの信念から始まりその時代の多様な信念と共に歩んできた。その信念こそが財産であり、群大はその財産が150年分あるのです。	36	地域と共に150年 ありがとう群馬県	群大は県を代表する大学です。群馬県は立派な一軒家が多く、県外から来た私はこの持ち家の方々から私の群大で送る生活期間よりも群大と共存してきたと感じました。私は今回のキャッチコピー募集枠の外の方、一般の地域の方に150年間の感謝を群大生として伝えたいと考えています。あたりまえのようで見逃しがちです。足元を強固なまでに、、、。
37	次の150年も、群と大きくはばたけ！	創基150周年を祝うとともに、これからの150年においても、群馬大学がより一層発展することを願って作成しました。また、「群と大きく」の部分には、群馬大学の略称である「群大」を連想する意味も込めています。	38	群を超えて世界と競え	群馬大学という「群」の中で学友と互いに切磋琢磨して世界で活躍できる人材を目指す。
39	青葉風に、乗せていく未来	群馬県は風が強いことで有名なので、青々と木々がそびえる夏の時期に吹く青葉風に、前途有望な学生たちの未来を乗せていくと言う意味で考えました。	40	天高く、馬っ子どこまでも	「天高く馬肥ゆる秋」ということわざを元に、群馬の広い空と豊かな自然の中で学生が知識を蓄え成長していくという意味をかけ、考えました。「馬っ子」というのは群馬大学で学んだ人やそれに関わる人を指しています。(※ことわざは昔のもので作者がわからないので、著作権は発生しないと思われます。)

群馬大学創基150周年キャッチコピーの応募作品一覧

通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説	通番	キャッチコピー	キャッチコピーの解説
41	鶴が舞うー紡いできた絆と叡智ー	群馬大学関係者が脈々となつないできた絆,そして叡智をキャッチコピーにしました。”鶴が舞う”という言葉で,「群馬」と「喜び」を表現しました。	42	鶴が舞うー百五十年の叡智と絆ー	”鶴が舞う”という言葉で,「群馬」と「喜び」を表現しました。”百五十年の叡智と絆”により,群馬大学関係者の絆が長く,そして深いものであることを表現しました。
43	育てます! 人を社会を未来をも	大学の根源的な使命は人材育成にあると考えます。また、大学で生まれ、培われた知識、技術、経験などは、地域社会や日本、世界で活用されて初めて意味を持ちます。そして、そのような不断の取り組みが、持続可能でより幸福な未来へとつながっていくはずです。群馬大学創基150周年にあたり、群馬大学としてのこのような姿勢を、キャッチコピーにふさわしい簡潔な語句とリズムで表現しました。	44	人を育て 社会に活かし未来を拓く	大学の根源的な使命は人材育成にあると考えます。また、大学で生まれ、培われた知識、技術、経験などは、地域社会や日本、世界で活用されて初めて意味を持ちます。そして、そのような不断の取り組みが、持続可能でより幸福な未来へとつながっていくはずです。群馬大学創基150周年にあたり、群馬大学としてのこのような姿勢を、キャッチコピーにふさわしい簡潔な語句とリズムで表現しました。
45	OK群大。ここでならきつとうまくいく	群馬大学は多様な学生を受け入れて、自然豊かな環境の中で勉学や研究に励めること、全教員が学生一人一人に向き合い寄り添い全力でサポートすること、「あなたにもきつと良い大学です」という意味を込めた。	46	群大よ、いざ己を超えてゆかん	150年を超えるにあたり、周りの人や事柄を超えることが目的ではなく、自分自身の弱い部分や既に持つ強みを更に超えていくことが目標となるような内容とした。「いざ、」で始め、意気込むようなキャッチコピーにすることで、この大学に入りたい・付いていきたいと思わせるような力強さをイメージした。
47	言葉の力、知の力を信じ、語らう	大学のあるべき姿を示す標語である。大学が暴力や強制力でなく言葉の力を信じる人、知の力を信じる人が集う場であることと、大学が持つこの価値観を知肉化した学生たちが生涯にわたる友情を培う場となることを表現した。そうなることへの願いを込めて。	48	群馬の、世界の、未来を創る。	150年の間、群馬大学は社会で活躍する人材を育成してきました(と思います)。また、大学では様々な研究が行われ、その成果は国内外にて発表・評価されています(と思います)。人材育成と研究は「未来を創る」ことに結び付きます。今までもこれからも、群馬大学は地域(群馬)・世界の未来を創る機関であり続けるんだという思いを込めました。
49	羽ばたけ、未来の先駆者達	“先手必勝”という言葉があるように、他に先立っていち早く行動し、新しい分野への開拓を恐れず未来を切り開いていけるようにという願いが込められています。			